

交流・情報部門の考え方

利用者のニーズに基づく図書館サービスの充実

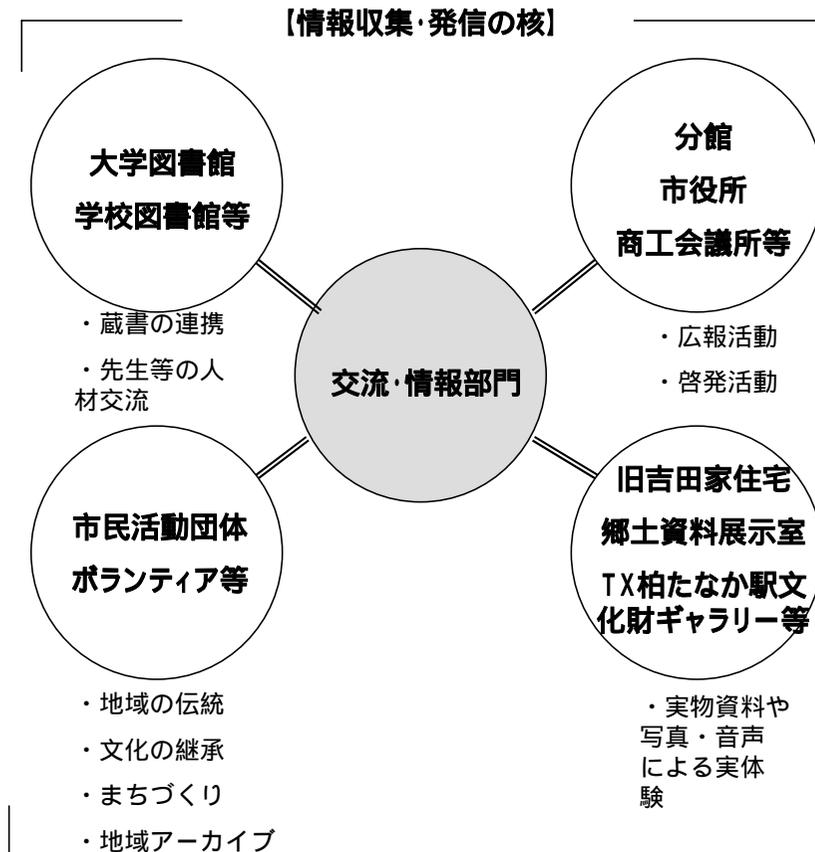
- ・ 柏の歴史，文化，伝統等に関する情報
- ・ 現在の柏，これからの柏を反映する情報

連携による特色あるサービスの展開

- ・ 関係機関等との連携による専門的な情報
- ・ データベース等時代に合った記録媒体の情報

ボランティア団体等を情報等により支援

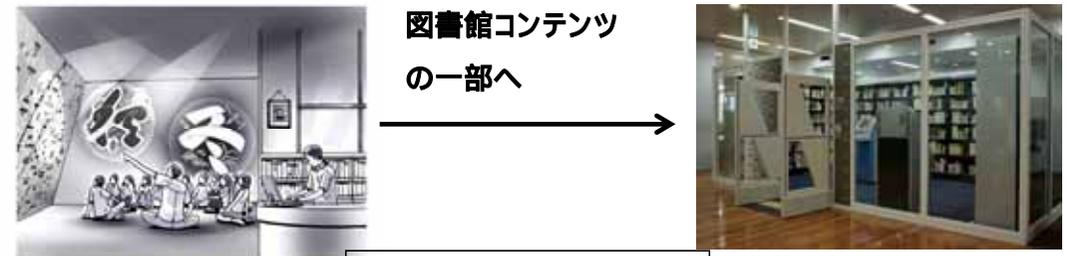
- ・ 活動の記録等に関する情報
- ・ 図書館ボランティアの育成



柏地域アーカイブの展開 「例」

来た人から情報をもらってコンテンツをつくる自己完結型（地域情報拠点を市民の力で構築）のしくみを構築し，知識から交流，交流から活動を生み出す展開とする。

- （ ・ 市民提供の映像や写真，市民講座等との連動 ・ 市広報，図書館独自の映像や写真 ・ NHK等の柏市関連コンテンツなど）

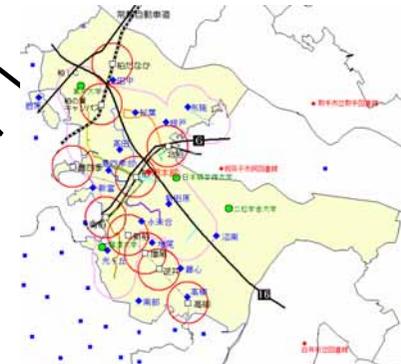


図書館コンテンツの一部へ

柏地域アーカイブのサイクル

交流・成果発表へ

それぞれのフィールドへ



運営の展開

1 図書館ボランティアを支援

市内でも広く知られている市民活動センターのボランティア組織運営ノウハウを活用し，新中央図書館ワークショップの参加者等（図書館運営等ボランティア候補）への成長を促しながら展開する。

2 さらなる図書館の存在意義の拡大

図書館機能に新たに市民活動センター機能が加わることで，様々な主体のネットワーク及び裾野の拡大の契機となり，市民に身近な図書館をより一層確立することができる。

3 生涯学習をキーワードに再編

新中央図書館が核となり，各分館，各近隣センターなど機能の整理や効率的な運営，協力，また新たな展開が期待できる。